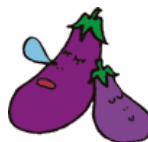


こぶしの里です。

<http://www.koujinkai.org/kobushi/rkindex.htm>

庄原市東城町川東152-4

TEL: 08477(2)5252



『若いもんには任せちゃーおれん!?!』

今年の春、こぶしの里に畑ができ、入所者の方々と一緒に野菜の苗を植えました。

昔とったきねづかか、「なすはこうーして植えるんじゃ。」「トマトのくえはこうやるんじゃ。」と、初夏の夕空の下とてもにぎやかな、畑談義に花が咲きました。

太陽の日差しと、入所者の皆さんの愛情を一心に受けた野菜は日に日に大きくなり、もうすぐ大収穫を迎えられそうです \ (^ ^) /



認知症って何？①

5回に分けて認知症（痴呆症）についてご説明させていただきます。できるだけわかりやすくしたいと思っています。

さて、認知症についてみなさんはどのくらいご存知ですか。

多くの方々が、いわゆる「ボケる」とこと、認知症（痴呆症）を混同されています。高齢になり、脳の機能が低下して忘れっぽくなったり、手際よく何でもこなせなくなったりすることは、実は歳を取ると誰にでも起こる、人間だったら当たり前の現象です。これを一般に「ボケる」と言っています。

でも、実は認知症（痴呆症）はこの「ボケる」とこととは別物なのです。若いころの自分と違ってきてしまっている自分自身を、周りの自分に対する扱いの変化を、どうしても受け入れられなくなり、もがき苦しみ、ついには自分にしかわからない独自の世界を作ってしまうたりする、言わば「心を病んでしまった状態」が認知症なのです。

ですので、家族や友人などの周りの人々の関わり方や、若い頃からの患者さん自身の生き方考え方が、大きくこの病気の発症に（そして実は改善にも！）影響していると言っても過言ではないでしょう。

今回は認知症特有の物盗られ妄想という症状からこの病気のココロを見ていき、認知症の理解を深めたいと思います。

作業療法士 大井博司



夏に特に多い！

腸炎ビブリオ食中毒にご用心！

これで万全・・・予防のための4ポイント

早く食べきる。

冷蔵庫をフル活用（ただし冷蔵庫を過信しない。温度管理とともに定期的な掃除を）

真水でよく洗う（腸炎ビブリオは塩水をを好むため、真水で十分洗う）

調理器具は清潔に（二次感染に気をつけよう）

・こまめに手とか爪のすき間を洗おう。 ・まな板を魚介類用と生野菜用に分けよう。

・ふきんなど使用後はきちんと消毒を（漂白剤や天日乾燥を）

・傷などあったら、薄手の手袋などして直接食べ物にふれない

食中毒に感染したなと思ったら・・・。

素人判断で市販薬を飲まない

すぐに医師に診てもらおう



吐いた物



ふれない

汚染された衣類は他のものと分けて洗濯する

（触れたら逆性石けんやアルコールで消毒）



申し訳ないのですが、この時期差し入れを持ってのご面会は控えていただけたらと思います。ご協力よろしくお願いいたします。

管理栄養士 森下優子

各フロアーより



公文式

老健1階では、今年の4月から頭の体操クラブと題し、毎週金曜日の午後2時から1時間程度、入所者6名の方と行っています。教室には皆さんのスローガンが貼られ、毎回脳を鍛えて若返るように必死に計算など頑張っておられます。



看板作り



通所の利用者の方たちと一緒に、野菜がしっかり育ちますようにと願いを込めて、畑に立てる看板を作っています。筆使いもよく、皆さんの協力によりステキな看板が仕上がっています。完成した看板を畑に置きましたら、是非見て下さい。



ベランダでの園芸

老健3階では、デイルーム前の広いベランダの隅を利用し、園芸を行っています。

先日、5月に植えたゴウヤの実を収穫して、酢物にしました。ゴウヤの苗をプランターに植え、ネットを貼り、水やり、観察、収穫、調理に至るまで全て入所者の方と行ないました。一番笑顔が多かったのは、ゴウヤを調理して食べる時でした。やはり、食べる時の笑顔は最高でした。その他にも、いろいろな花やトマトなども植えています。これからは、散歩に行かれた入所者の方みなさんが心とむようなベランダ作りを行っていきたくです。





小川 美和
(作業療法士)

リハビリ室で頑張っています。初心を忘れず、1日1日に学ぶ事を大切にして、御利用者の皆さんのニーズに応えられるよう自分を磨いていきたいと思ひます。どうぞ、よろしくお願ひします。



守屋 圭奈子
(介護士)

老健1階へ勤務しています。これから、色々なことに取り組み、利用者の皆さんの力になれるよう、頑張っていきたいと思ひています。よろしくお願ひします。



福森 崇
(介護士)

老健3階で利用者の皆さんと色々な話をしながら楽しく仕事をさせて頂いています。介護の仕事始めて2年目ですが、先輩方から沢山のことを学び、利用者の皆さんの期待に応えられるよう頑張っていこうと思ひます。



関 真由美
(介護福祉士)

4月から病棟で勤務しています。専門学校で学んだことをしっかり生かし、日々勉強という気持ちで頑張っていこうと思ひます。また、利用者の方としっかり向き合い多くの人の笑顔を見ていきたいと思ひています。



知っておきたい豆知識

問：尿とりパットの代わりに、安いので生理用ナプキンを使っていますが、もれることがありますか？

答：尿とりパットと生理用ナプキンでは、吸収素材も吸収できる容量も違うため安心できませんね。しかも、尿とりパットにはニオイを抑える作用があります。

問：紙でできているようなのですが、尿とりパットは洗ったり、干したりして繰り返し使えますか？

答：尿とりパットは使い捨てです。洗うと吸水材が水を吸ってドロドロになり、洗濯機が大変なことになります。また、干しても乾いて元に戻ることはありません。決して洗ったり干したりしないで下さい。

七月になつて、梅雨らしい雨の日が続く、こぶし雨の前にある畑の野菜も雨を喜ぶように、すくすくと成長し、収穫間近となくともきました。今年の春から始めた畑作りでは、週に二回、利用者の方々と一緒に、畑に出る水やりや草取りなどの活動を通して利用者の皆さんと収穫を分かち合えたいと思ひます。



これからの行事

- 7月16日(土) お誕生日会
- 7月29日(金) ボランティアフォロー講座
- 8月5日(金) ボランティアフォロー講座
- 8月10日(水) お誕生日会
- 9月9日(金) お誕生日会
- 9月13日(火) 敬老会

